

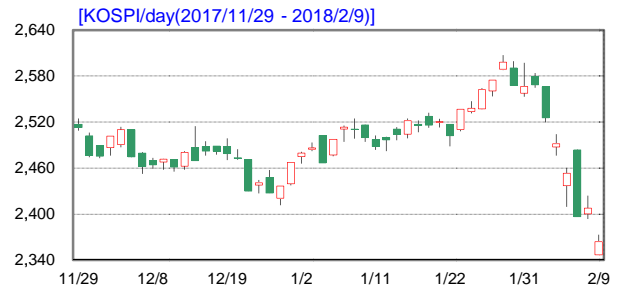


【韓国】 総合指数は週間で6.4%安と続落、米国発の世界株安連鎖が重し

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で6.4%安と続落。下落率は12年5月以来、5年9カ月ぶりの大きさとなった。米株下落に歯止めがかからず世界株安の連鎖が広がる中、投資家がリスクオフの姿勢を強めた。米株急落を受け、総合指数は7日まで4日続落。7日は米株の先行き警戒感が高まり、節目の2400を割り込んだ。8日は反動で半導体のSKハイニックスやバッテリーのサムスンSDIなど主力ハイテク株に押し目買いが優勢となり、小幅に反発。9日は前日の米株大幅安を受け、再び幅広い銘柄が売られ、5カ月ぶりの安値で週の取引を終えた。今週は、世界の株式市場で米株急落をきっかけとした動揺が収まる様子が見られない中、軟調な展開が続くか。13日には12月のマネーサプライ、14日には1月の失業率が発表される予定。

▼指数チャート

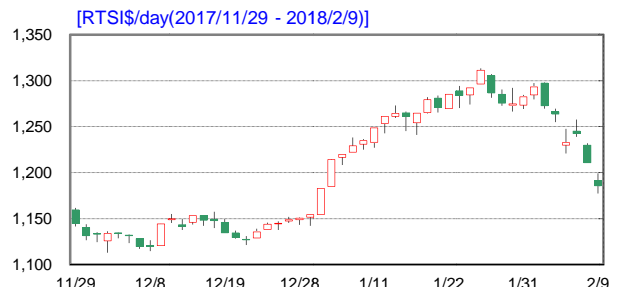


【ロシア】 RTS 指数は週間で6.8%安と大幅続落、今週は米株次第で戻りに期待

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で6.8%安と大幅続落。軟調な欧米株式市場の動向や原油安を受け、下落基調が続いた。指数構成45銘柄のうち38銘柄が週間でマイナスとほぼ全面安の展開。ブレント原油先物価格は週間で8.4%下落し、指数の重しとなった。経済指標も総じて弱く、1月のCPIの前年比伸び率は2.2%（市場予想：2.3%）、マークイット・ロシアPMIサービス業は55.1（市場予想：56.9%）と市場予想に届かなかった。指数は週中に戻す場面もあったが勢いは続かず、前週末比6.8%安の1185.79ドルと1月3日以来の1200ドル割れで取引を終了した。ロシア中央銀行は9日、主要政策金利を0.25%引き下げ、7.50%とした。利下げは市場の予想通り。今週は米国株と原油相場の動向次第では戻りに期待できそうだ。

▼指数チャート



【ベトナム】 VN 指数は週間で9.1%安と大幅続落、今週は2営業日の取引

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で9.1%安と大幅に続落。前週に7週ぶりに反落となった流れを引き継ぎ、先週も米国株の大幅下落や原油安を受けて急落した。主力銘柄の多くが売られ、一時は1月3日以来となる1000ポイント割れ。14日から旧正月（テト）の連休で休場となることも持ち高整理を急がせた。1週目を振り返ると、週明け5日はマイナスで寄り付いた後に5.1%安と下落幅を拡大して終了。6日には一段安となり、場中に1000ポイントの大台を割った。7日はリバウンド狙いの買いで一時、3%超の戻りを見せたが、軟調な原油相場も重しとなり、週後半には再び下落基調が強まった。9日は寄り付き直後に973.78ポイントまで値を崩し、前日比1.9%安の1003.94ポイントで終わった。今週は2営業日取引だが、引き続き軟調か。

▼指数チャート

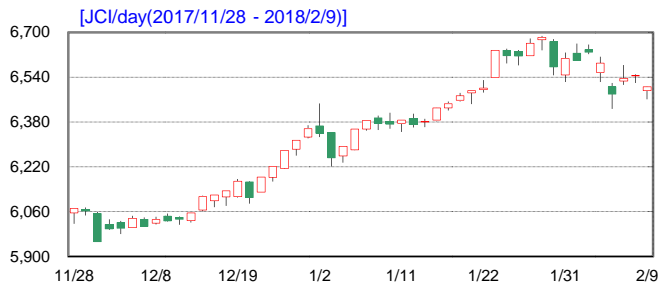


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.9%安、今週は 15 日に 1 月の貿易統計発表

ジャカルタ総合指数は週間で 1.9%安と続落。米株相場が急落した影響で総じて軟調な値動きだった。週初の 5 日は、17 年 10-12 月の GDP 成長率が前年同期比 5.2%と市場予想をわずかに上回ったが、前週末の NY ダウの大幅反落に連動した売りを補えず、指数は反落。6 日は前日比で 1.7%下落し、終値ベースで 6500 ポイントを割り込んだが、7 日は国際通貨基金 (IMF) がインドネシアの中期的な経済成長について楽観的な見方を示したことが好感されて反発した。今週は 15 日に 1 月の貿易統計が発表されるほか、中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。16 日は旧正月の祝日で休場となる。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 4.3%安、世界的な株安で大幅下落

ストレーツタイムズ指数は週間で 4.3%安と続落。世界的な株安に連動して大きく下落した。週初の 5 日は、金融株が指数下落をけん引し、終値ベースで前営業日比 1.3%安。6 日は前日の米株相場が大幅続落した影響でさらに 2.2%下落すると、7 日は終値で 3400 ポイントを割り込んだ。一方、8 日は 17 年 10-12 月期の純利益が 2 桁増加した銀行最大手の DBS グループが買われて、指数は 5 営業日ぶりに反発。ただ、9 日は前日比 1.1%安と再び反落し、約 3 カ月ぶりの安値を更新して取引を終えた。今週は 15 日に 1 月の非石油地場輸出が発表される予定。15 日は旧正月前日のため半日立ち合い、16 日は休場となる。

▼指数チャート

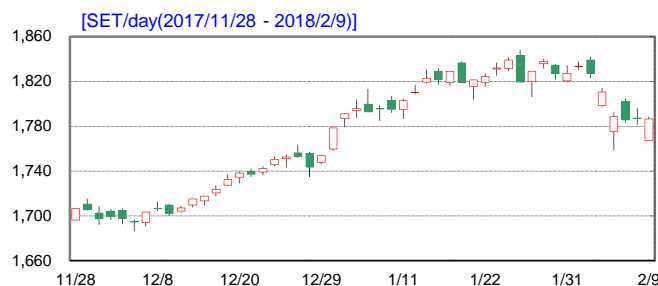


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.2%安、今週は中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催

SET 指数は週間で 2.2%安と続落。国内の重要イベントが少ない中、週前半の下落が指数を押し下げた。週初の 5 日は続落してスタート。6 日に前日比 1.2%安と終値ベースで約 4 週ぶりに節目の 1800 ポイントを割り込むと、その後は小幅なレンジでのみ動きが続いた。今週は 14 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定で、政策金利は 15 年 6 月から 22 会合連続で 1.50%に据え置かれるとの見方が優勢。世界的な株安で市場が混乱する中、会合後に発表される声明の内容にも注目が集まりそうだ。前週末の NY ダウが 3 日ぶりに反発した流れを引き継ぎ、1800 ポイントを回復するかが焦点。

▼指数チャート

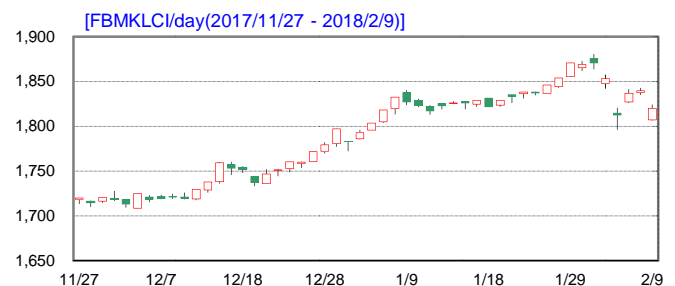


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.7%安、今週は 14 日に 17 年 10-12 月の GDP 発表

クアラルンプール総合指数は週間で 2.7%安と 11 週ぶりに反落。不安定な値動きが続いた 1 週間だった。週初の 5 日に反落すると、6 日は場中に一時、1800 ポイントを割り込み、終値で前日比 2.2%安と続落。7 日は 17 年 12 月の輸出入額がともに市場予想から下振れしたものの影響は少なく、前日の NY ダウが反発したことに連動して前日比 1.3%上昇すると、8 日も小幅ながら続伸した。ただ、9 日は前日比 1.1%安と 3 日ぶりに反落して取引を終えた。今週は 14 日に 17 年 10-12 月の GDP が発表される予定で、成長率の市場予想は前年同期比 5.5%。15 日は旧正月前日のため半日立ち合い、16 日は休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。